

2025年10月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）が NTTドコモと連携し共創ラボ「FEEL TECH Lab」を設立



慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（以下、KMD）は、株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）との連携のもと2022年度より取り組んでいる「FEEL TECH[®]」プロジェクトにおける触覚共有技術の研究を基盤に、2025年10月、ドコモとともにKMD研究所内に共創研究ラボ「FEEL TECH Lab」を設立しました。

FEEL TECHは、人間の感覚をネットワークで拡張する「人間拡張基盤[®]」を用いて、他者の動作や感覚を受け手の身体や感じ方に合わせて変換し共有するドコモの取り組みです。触覚共有に関する取り組みでは、人が何かに触れたときの感覚を相手の感じ方に合わせて共有することで、感情や体験をより深く伝え合う新たなコミュニケーションを目指しています。

* 「FEEL TECH」「人間拡張基盤」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

これまでKMDはドコモとともに共同研究を実施し、国内外における展示等を通じて、触覚を通じた人間拡張の可能性を探求し、多様な応用領域を開拓してきました。具体的には、触覚の感じ方の違いの可視化、日常生活で触覚を身に纏うためのウェアラブル技術開発、そしてエンタテインメント領域での新たな触覚体験の創出など、活動は多方面に広がっています。

本共創ラボでは、これらの知見を統合し、人間の感覚をネットワークで拡張する基盤技術としての触覚コミュニケーションをさらに進化させていきます。触覚を共有することで、人と人、人と世界の間を再構築し、感性がつながる社会の実現を目指します。

KMD Forum 2025 への出展



FEEL TECH Labは、2025年11月に開催する「KMD Forum 2025」に出展し、共創ラボで取り組む研究の紹介とFEEL TECHの体験デモンストレーションを行います。来場者の皆さまには、「触れた感覚を共有する」体験を通じて、新たな感覚の可能性をご体感いただけます。トークセッションにおいては、これまでの研究成果と今後の展望を共有するとともに、触覚コミュニケーションが拓く未来について議論します。

KMD Forum 2025 「KMD+」開催概要

日程：2025年11月2日（日） 11:00～17:00、11月3日（月） 10:00～17:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー・東京都立産業貿易センター浜松町館 2 階

イベントページ：<https://forum.kmd.keio.ac.jp/> 参加費：無料

FEEL TECH Lab トークセッション概要

「FEEL TECH Lab unveil - 触覚コミュニケーションの未来へ」

日時：2025年11月2日（日） 14:30～15:30

開場：KMD Forum Talk Stage（東京ポートシティ竹芝オフィスタワー3F まちづくりプラザ）

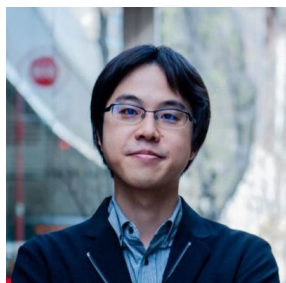
予約ページ：<https://kmdforum2025ts3.peatix.com/> （予約無しでも当日参加可能）

FEEL TECH Lab 主要メンバー／トークセッション登壇者



石川 博規（株式会社NTTドコモ モバイルイノベーションテック部）

東京工業大学大学院博士課程修了。NTTドコモ入社後、携帯電話やアプリケーションの開発に従事。2020年より、IOWN / 6G時代における新しいコミュニケーションの創造に向けて、さまざまなパートナーと連携し、FEEL TECHの開発に従事。



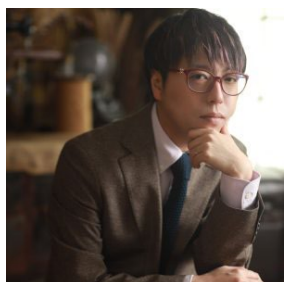
南澤 孝太（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

2005年東京大学工学部計数工学科卒業、2010年同大学院情報理工学系研究科博士課程修了、博士（情報理工学）。KMD Embodied Media Project を主宰し、身体的経験を伝送・創造・拡張する「身体性メディア」「サイバネティック・アバター」の研究開発と社会実装、触覚デザインの普及展開を推進。科学技術振興機構ムーンショット型研究開発事業 Project Cybernetic being プロジェクトマネージャー。



石戸 奈々子（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）

東京大学工学部卒業後、MITメディアラボ客員研究員を経て、CANVAS、デジタルえほん、超教育協会等を設立、代表に就任。総務省情報通信審議会委員など省庁の委員やNHK中央放送番組審議会委員を歴任。デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。著書には「子どもの創造カスイッチ!」、「賢い子はスマホで何をしているのか」をはじめ、監修としても「マンガでなるほど! 親子で学ぶ プログラミング教育」など多数。



標葉 隆馬（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授）

京都大学大学院生命科学研究科博士課程修了、博士(生命科学)。総合研究大学院大学助教、成城大学准教授、大阪大学准教授を経て、現職。先端科学技術をめぐる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）の分析、メディア分析、コミュニケーションデザイン、政策分析などを組み合わせながら、「責任ある研究・イノベーション（RRI）」の視点を踏まえた科学技術ガバナンスに関わる研究を進行中。主著に『責任ある科学技術ガバナンス概論』（ナカニシヤ出版 2020）。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会学部等に送信させていただいております。

◆内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 南澤孝太 教授室

E-mail : koutasec@kmd.keio.ac.jp

◆本リリースの配信元

慶應義塾広報室

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640 E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp